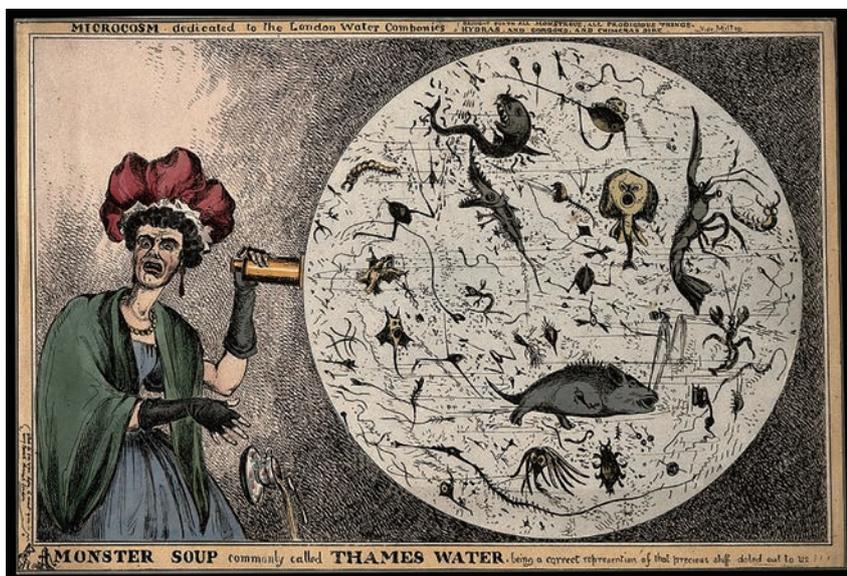


特集

ペスト、コレラ、新型コロナウイルス



A woman dropping her porcelain tea-cup in horror upon discovering the monstrous contents of a magnified drop of Thames water; revealing the impurity of London drinking water.

Coloured etching by W. Heath, 1828. (左)

(Wellcome Collection より <https://wellcomecollection.org/works/pw7fqzb9>)

ロンドンの水滴の脅威 : 『パンチ』18巻1850(右)

CONTENTS

- 特集 ペスト、コレラ、新型コロナウイルス 名誉教授 見市雅俊
- 図書館のコロナ禍対応紹介：自宅でも！キャンパスでも！使える図書館サービス
- 後樂園キャンパス 図書館理工学部分館 ～学修・研究施設リニューアル～
- 新取資料紹介 中央大学教職員著作目録・資料目録 (2019.6～2020.1 収集分)

ペスト、コレラ、新型コロナウイルス

名誉教授 見市 雅俊

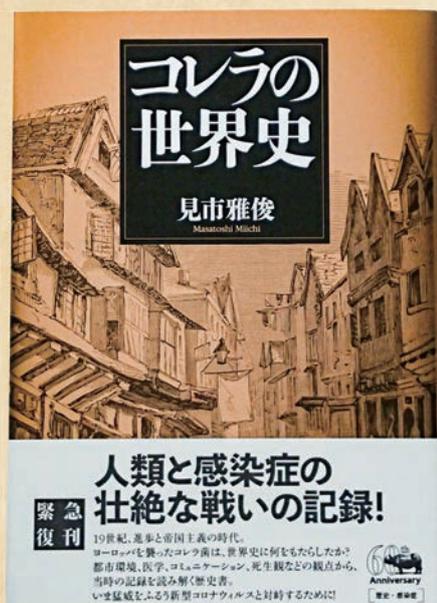
新型コロナウイルスの爆発的流行のために、2020年度前期の大学の授業はオンライン中心で実施されることになった。あるアンケート調査によれば、「授業の80パーセント以上をオンラインで実施する大学が7割にのぼった」（『朝日新聞』2020年8月24日）。後期も、ある程度、「対面形式」の授業の復活はあるものの、オンライン授業中心の態勢が続くようである。

さて、この新聞記事もそうなのだが、オンライン授業についての議論はもっぱらその教育効果をめぐるものになっていて、そもそもオンライン授業がこのように大規模に、しかも大筋で混乱なく実施されたことについては、ほとんど一言もない。当然だ、と一般にみられているからだろう。しかし、たとえばこの感染症がいまから10年前に大流行していたら、大学の対応はどうなっていただろう。全面的オンライン授業は不可能だった、とはいわないにしても、実施にあたってはそうとう混乱があったはずである。いわんや20年前だったら、ほぼ不可能だったろう。今のような社会環境だからこそ、「なんとかなった」のである。簡単にいえば、教える側も教わる側も、そして裏方で支える事務方もすべてIT世界の「住民」だからである。

このようなIT世界の進展をもふくむ今日のグローバル化現象と、新型コロナウイルスの流行とは密接にかかわっている。たとえば新聞で、毎日、日本はもとより世界中の新型コロナウイルスの感染者と死亡者の人数が一桁台まで（どこまで正確かはさておいて）、まるで気象情報のように知ることができる。それだけ情報のネットワークが世界的に密になっている、ということである。そのこととこの感染症の伝播の速度。両

者は表裏一体のものなのだ。

もっと掘り下げてみよう。そもそも感染症の歴史は、「文明」の誕生と密接に結びついていた。古代農業革命によって定住生活が始まり、人口が増大し、都市が生まれたことはよく知られている。そこで見落としてはならないのは、それが「病人」の誕生の瞬間でもあったことだ。大ざっぱに言えば、それ以前の狩猟採集社会は基本的に「強者」の世界であり、「弱者」は「淘汰」されていた。一方、農業社会は女性（とくに妊婦）、高齢者、子ども、そして広義の病人の居場所＝「ニッチ」をうみだし、そうして、それらの弱者の生存が基本的に「保証」されることになったのである。そして感染症が人間社会に定着するためには、各種の病原体を滋養するための、ある一定の人口数と密度とが不可欠で



見市雅俊『コレラの世界史』
（新装版）晶文社，2020.5

ある。かくして、感染症の歴史も農業社会の誕生とともに始まることになる。

人類史における、この文明＝豊かさと病気との逆説的な関係のもっとも基本となるのが、都市と農村の人口動態上の関係である。まず、20世紀のある段階まで、先進工業国もふくめて一般に都市住民の平均寿命は農村のそれを下回っていた。つぎに、近代のある段階まで、都市部においては恒常的に死亡率が出生率を上回っていた。それでも都市人口が増大していったとすれば、それは、農村部からの人口流入があったからである。都市と農村の一般住民の生活状態に格段の差がなかったとすれば、このような人口動態上の差異の相当部分は、都市の密集空間において各種の感染症が跋扈していたから、ということの説明できる。そのような病的環境のなかで、都市部の第二次・第三次産業が活況を呈するようになると、陸続と農村部から労働力が流入し、そうして都市部の人口密度がいっそう高くなり、とくに、人類史において最大の死亡者数を計上してきた感染症のひとつ結核が大流行することにもなった。人口動態全体で見れば、「不潔」な都市空間は、「清潔」な農村空間の過剰人口を消化する「蟻地獄」だったのである。

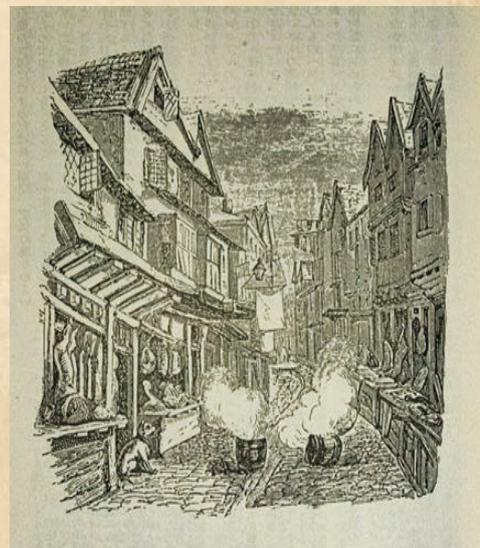
さて、人類の歴史には、それぞれの時代を彩る病気というものがある。14世紀半ばから18世紀までのヨーロッパ史を彩ったのが、ペストである。それは本来、野生の齧歯動物の間でノミを介して慢性的に流行する病気だった。しかるに、この「自然の病巣」から、ペスト菌がなんらかのきっかけで流出し、そうして野生の齧歯動物→ノミ→ネズミ→ノミ→人間、と「飛び火」してゆき、最後に人間社会の流行病となる。

発端となった14世紀半ばの「黒死病」(当時、ペストはその病死体が黒ずんだことからそう呼ばれた)の「震源地」については論争が絶えないのだが、たしかなことは、その飛び火の背景にモンゴル帝国の「平和」があったことである。安定した広域支配をおこなう大帝国のもとでは「国際交流」が盛んになり、ヒトとモノと

文化・情報が盛んに行き交うようになることはよく知られているが、同時に「病原体」の動きが活発になることもありうる。この場合は、中央アジアの齧歯動物の世界にあったペストの「自然の病巣」と、モンゴル帝国の支配下、ユーラシア大陸を横断するさまざまな交流とがなんらかのかたちで抵触し、そうして人の病気としてのペストが西進し、ヨーロッパ世界にいたって黒死病へと昇華したのであった。

この黒死病では、当時のヨーロッパの人口の少なくとも3分の1が死んだ。ヨーロッパ史上、最大の死亡率を記録した未曾有の大惨事である。注目されるのは、生き延びた下層の人びとにとってこの大惨事は「僥倖」だったことだ。深刻な労働力不足となって賃金が高騰し、また寡婦・寡夫の再婚相手になることで社会的に上昇する機会がうまれたのである。結婚・出生率の上昇をテコに社会が再生されるという、災害の歴史で幾度となく繰り返されてきた事例である。

そして19世紀世界を彩る病気は、コレラである。もともとコレラはインドのガンジス川下流域の「風土病」(エンデミック)だった。その流行が、たとえば何年かに一度のヒンズー教の大祭のさいにインド各地から大勢の巡礼者が、たまたまコレラ風土病地帯のなかに位置する聖地に集まることによってインド各地に飛び火し、「流行病」(エピデミック)になることがあった。イギリスによるインド植民地の経済開発も、交通



19世紀コレラの流行—イギリスのエクセターにおける燻蒸消毒
見市雅俊『コレラの世界史』(新装版)より

手段の整備や出稼ぎ労働者の大量移動などを介してコレラの流行病化をうながした。そして1817年、ついにコレラはインド国外へと横溢し、「世界的流行病」(パンデミック)になった。その1824年までの第一次流行のなかで1822(文政5)年には、コレラは日本に上陸する。病気の世界では、日本はこのとき「開国」したのである。これをふくめて19世紀末までに5回のコレラの世界的流行がみられた。「パックス・ブリタニカ」(ブリテンの平和)→コレラということである。

一方、産業革命の母国たるイギリスでは、都市化が急速に進行し、その結果、さきに見た都市の蟻地獄状態がますます深刻化していた。それは、古代における都市の誕生以来の、豊かさと病気との逆説的な関係の最終局面でもあった。衛生状態がますます深刻になる。そのひとつが飲料水の汚染であった。ロンドンについてみると、1827年、水洗トイレの汚物等が垂れ流し状態のテムズ河から上水道の取水がおこなわれていることを弾劾する世論が盛り上がった。顕微鏡でみた水道水の水滴の画像がロンドン中に出回った。表紙左の「淑女」の図版は、それを取り込んだ風刺画である。上段のキャプションは、「ロンドン水道会社に捧げる顕微鏡拡大図」。下段は、「テムズ河の水と呼ばれる怪物スープ。われわれに配給される、かの貴重な生命の支えの正体」。

1830年代以降、コレラがそのような社会環境のなかにインドから渡来し、ヨーロッパ各地で大流行したのであった。それによる社会的動揺は、ペストの時代のそれに匹敵するものとなった。イギリス、フランス、ロシア、さらに明治期の日本において、コレラ=「毒殺」の陰謀という噂が飛び交い、その下手人と目された医療関係者が危害をくわえられる事件までおきた。

なお、コレラの流行について詳しくは、拙著、『コレラの世界史』を参照されたい。

表紙の、もうひとつの図版、それと本頁右上の図版は、いずれも雑誌『パンチ』からとってきた。前者は1850年、遅々として進まないロンドンの上水道の改善



『パンチ』23巻 1852年9月25日

を風刺したもの。後者は1852年、ロンドンの下層の人びとの住環境を描いたもの。タイトルは「コレラ王の宮廷」とあるが、“Court”には「宮廷」という意味にくわえて、「路地裏」という意味もある。コレラ「王」の被害が大都会の路地裏に集中した理由がおのずからわかる図柄である。なお、『パンチ』はイギリスを代表する風刺雑誌であり、本学図書館にはその現物が全巻、揃っている。

コレラの流行は、19世紀後半以降、西洋諸国と日本において上下水道の改善をはじめとする衛生改革の「母胎」となる。そうして実現した豊かで、清潔な生活空間。20世紀末、先進国については、感染症の深刻な脅威は想定しなくてもよい、感染症の「歴史」はおわったのだ、という楽観的な見方が支配的になっていた。そこに登場したのがまずエイズであり、そして、今回の新型コロナウイルス感染症だったのである。

多くの論者がいうように、新型コロナウイルスの流行によって、社会のIT化が加速度的に進行することは間違いないだろう。大学のありようも変わってゆくはずである。しかし、教員と学生と事務方が「対面」して自由に語らう、あるいは学生が図書館でさまざまな資料を手にするなど、その「伝統」の大切さは今後ともいささかも目減りはしない、とおもう。学生のいない大学のキャンパスはまさにゴースト・タウンである。一日も早く、「密」な、しかし安全な空間が戻りますように！

自宅でも! キャンパスでも! 使える図書館サービス

図書館では、来館せずに利用できる便利なサービスを提供しています。この機会に是非活用してください!



自宅学修に役立つ! 電子ブック・データベースの活用法

自宅学修に役立つ!
電子ブック・データベースの活用法

本学では、新型コロナウイルス感染防止のため、キャンパスでの集会制限が実施され、みなさんより多様なメディアを活用したオンライン授業を中心に、授業で学んでもらう機会が増えています。

図書館では、皆さんの自宅学修の手助けとなるよう、自宅から利用できる電子ブック、雑誌、新聞などを多数提供しています。このページでは、特に学部学生の方を対象に「英語を勉強したい」「専門的な論文が読みたい」「就活・インターンシップにも役立つコンテンツ」などのテーマごとにデータベースを紹介したページを作成していますので、ぜひご活用ください!

1. どの冊子にアクセスしたい! ... 検索から冊子の検索に絞る
2. 日本語の本が読みたい! ... 文庫・新刊から検索する
3. 冊子から読みたい! ... 文庫・新刊から検索する
4. Webコースで読みたい! ... 電子ジャーナル、雑誌の検索
5. より専門的な雑誌や論文が読みたい! ... 電子ジャーナル、雑誌の検索
6. 自宅で学修したい! ... 英語の勉強がしたい! ... 英語の勉強がしたい!
7. 企業・業界関係の資料が読みたい! ... インターネットでも検索できる

図書館では 100 を超えるデータベースを契約しており、電子ブック・雑誌・新聞・辞書など全文を読めるものもあります。その多くのデータベースは VPN や学認を経由することで学外からもアクセスできます。

特に学部学生の方を対象に「英語を勉強したい」「専門的な論文が読みたい」「就活・インターンシップにも役立つコンテンツ」などのテーマごとにデータベースを紹介したページを作成していますので、ぜひご活用ください!

日本語版 (JP)

英語版 (EN)



コチラ

全学メールのアカウント (XX@g.chuo-u.ac.jp) で google にログインすると利用できます。

電子ブックの一例

【 Maruzen eBook Library 】



多数の和図書のほか、英語多読本も閲覧することができます。

【 Ebook Central 】



人文・社会・自然科学分野の 14 万点を超える電子書籍を閲覧することができます。

電子ブック・データベースへのアクセス方法

図書館 HP からデータベースリストへアクセスし、それぞれのデータベース名をクリックすると、データベースの概要を見ることができます。

データベースリスト			
書名	TOP	CHODS(OPAC)	e-journals / e-books
1. 雑誌記事目次情報			
接続方法の紹介			
SSL-VPN接続について			
学認接続について			
学外からデータベースが			
繋がらない時は			
uWorks			
(文庫目録ツール)			
English			

接続方法に「VPN」「学認」の記載があれば、自宅から利用できます!

※詳細は図書館 HP>データベースリストの「SSL-VPN 接続について」「学認接続について」をご確認ください。

日本語版 (JP)



英語版 (EN)



メールレファレンス

レファレンスサービス (資料調査に関する相談やデータベースの利用方法に関する質問) をメールで受付しています。「レポートを書きたいけど資料が見つからない」「データベースの使い方がわからない」などありましたらお気軽にご相談ください。

コチラ

メールレファレンス



後楽園キャンパス 図書館理工学部分館 ～ 学修・研究施設リニューアル ～



2020年の夏、図書館理工学部分館は、新聞・雑誌閲覧コーナーの設備等を更新し、レイアウト変更のための改修工事を行いました。自主的な学修が促進されることを目的に、限られたスペースを有効活用し快適な空間へと改善しています！新たな学修の場として是非ご活用ください。

▶ 改修エリア

図書館理工学部分館 6号館 6階(東側) (143.30㎡)

▶ リニューアル設備

- 新聞閲覧台〔4台〕
- 新聞閲覧テーブル〔6席〕
- 窓側カウンター電源コンセント付学修デスク〔15席〕
- 検索PC用デスク、周辺のケーブル配線
- 展示雑誌架
- 書架
- 雑誌閲覧ソファ
- 窓側ブラインド・天井照明
- 床カーペット
- 窓側ブラインド



■ 新聞閲覧コーナー

スタンディングスタイルの新聞閲覧台やハイスツールなど、目線の高いエリアとなっており、気兼ねなく「とりあえず」何かを調べる・読むといった利用が可能です。

新聞閲覧台で紙面全体を見開きで読むことができ、台の上には照明をつけ、文字を読みやすくしています。関心のある新聞を取り出してお読みいただけるテーブルもあります。



新聞閲覧台



テーブル席

■ 図書館蔵書など検索用PCコーナー

図書館蔵書検索、オンラインデータベースで情報を検索するPC台は、椅子席かスタンディングスタイルを選べ気軽に検索できるようになっています。



スタンディングスタイル



椅子席

■ 雑誌閲覧コーナー

新たな気付きや知識を獲得するエリアとして、理工系の学術雑誌を中心に多種類の雑誌の最新号を展示し、ブラウジングし易いよう、新しい雑誌架を設置しています。

気になる雑誌を見つけたら、雑誌コーナーのそばにある大型ソファに座ってお読みいただけます。

展示雑誌数：約 150 タイトル



■ 書架／新着本コーナー

従来の書架の高さを見直し広い空間を演出するために、敢えて低書架を配置しています。この書架には、教員推薦本を推薦のコメント付きで展示したり、卒業後の進路選択の一助となるキャリア本を配架しています。また、テーマを絞って Pick Up した本の紹介もしています。新着本コーナーには、展示照明をつけ、気軽に手に取っていただけるよう案内しています。



■ 窓側カウンターデスクで集中できる学修環境

窓側の席は、隣の人を気にすることがないようにパネルで仕切っている席と隣の人と会話ができる席があります。デスクは、電源（コンセント）があり、プライベートパソコンのバッテリーを充電できます。USB ケーブルを挿して充電も可能です。各席は、LED 照明付きですので各自で手元の明るさを調整しご利用いただけます。



このほか、用途に合わせて最適なエリア・施設をご利用いただけるよう、利用環境の向上に努めていきます。

アクティブラーニングスペース



グループ学習室



図書館 PC 室



新収資料紹介

教職員著作目録 2019.6-2020.1 配架図書一覧 ()は所属学部等

著者名	書名	出版社	出版年月	配置場所	請求記号
浅野 孝夫 (名)	著 近似アルゴリズム：離散最適化問題への効果的アプローチ (アルゴリズム・サイエンスシリーズ 11 数理技法編)	共立出版	2019.6	理工/国際情報	007.64/Su34
阿部 成樹 (文)	著 アンリ・フォションと未完の美術史：かたち・生命・歴史	岩波書店	2019.5	中央書庫/開架	702.01/A12
飯尾 淳 (文)	著 情報を集める技術・伝える技術：情報社会の一員として備えておくべき基礎知識	近代科学社Digital	2019	中央書庫/開架	007/I27
小向 太郎, 石井 夏生利 (国経)	著 概説GDPR：世界を揺るがす個人情報保護制度	NTT出版	2019	中央書庫/開架	316.1/Ko68
石村 直之 (商)	共著 例題で学ぶ基礎からの微積分	培風館	2019.9	中央書庫/開架	413.3/N86
井田 良 (法務), 丸山 雅夫	著 ケーススタディ刑法 第5版	日本評論社	2019	中央書庫/開架	326/I16
井上 良二 (商)	編 財務会計論 新版, 3訂版	税務経理協会	2019.10	中央書庫/開架	336.9/I57
上野 清貴 (商)	編著 日本簿記学説の歴史探訪	創成社	2019.3	中央書庫/開架	336.91/U45
上野 清貴 (商)	著 会計の科学と論理	中央経済社	2019.6	中央書庫/開架	336.9/U45
上野 清貴 (商)	編著 簿記の理論学説と計算構造	中央経済社	2019	中央書庫/開架	336.91/U45
遠藤 研一郎 (法)	著 僕らが生きているよなかのしくみは「法」でわかる：13歳からの法学入門	大和書房	2019.6	中央書庫/開架	320.4/E59
劉 燕子, 及川 淳子 (文)	編 「0-8憲章」で学ぶ教養中国語	集広舎	2019.6	開架/中国言語	827.5/R98
及川 淳子 (文)	著 「1」通の手紙	小学館	2019.5	中央書庫/開架	289/R98/O32
大淵 博義 (名), 安田 京子	著 国税の常識 第21版	税務経理協会	2019	開架/戦略経営	345/O19
岡崎 裕史 (国経)	著 いまさら聞けないITの常識 (日経文庫)	日本経済新聞社	2019.7	中央書庫/開架	401/O39
法的検討グループ 小賀野 晶一 (法)ほか	著 「安全な暮らしをつくる新しい公/私空間の構築」：2018年度法的検討グループの最終報告	法的検討グループ	2019.3	中央書庫	369.26/H96
小賀野 晶一 (法)	編集委員長 交通事故相談ハンドブック 2008-2013, 2015-2018	内閣府 政策統括官	2008.11-	中央書庫	681.3/Ko94
小賀野 晶一 (法)	著 基本講義民法総論・民法概論	成文堂	2019.4	中央書庫/開架	324/O21
小賀野 晶一 (法)	著 基本講義環境問題・環境法	成文堂	2019.4	中央書庫/開架	519.5/O21
藤田 卓仙, 小賀野 晶一 (法), 成本 迅	編 認知症と情報 (公私で支える高齢者の地域生活 3)	勁草書房	2019.6	中央書庫/開架	369.26/Ko84
小賀野 晶一 (法)	代表編 リサイクルの法と実例	三共法規出版	2019.10	中央書庫/開架	519.52/O21
岡本 正明 (法)	著 アルタモント、天使の詩：トマス・ウルフを知るための10章	英宝社	2019.1	中央書庫/開架	930.29/W84/O42
小塩 節 (名)	著 ぶどうの木のかげで：今日の祈り、明日のうた	青嶺書房	2019.5	開架	914.6/O77
菊井 雄大, 村松 俊夫 加藤 新太郎 (法務) ほか	原著 著 コメントリアル民事訴訟法 4 第2版	日本評論社	2019.3	中央書庫/ 市ヶ谷法務	327.2/Ki26
能見 善久, 加藤 新太郎 (法務)	編 相続 第3版 (論点体系判例民法 11)	第一法規	2019.6	中央書庫/開架	324/R66
加藤 新太郎 (法務), 前田 陽一, 本山 敦	編集 離婚・親子・相続事件判例解説：実務精選120	第一法規	2019.6	中央書庫/開架	324.62/Ka86
加藤 新太郎 (法務) ほか	編 不法行為 1-2 (論点体系判例民法 8-9)	第一法規	2019	中央書庫/開架	324/R66
加藤 新太郎 (法務), 嘉納 英樹	編著 法律書では学べない弁護士が知っておきたい企業人事労務のリアル	第一法規	2019.11	中央書庫	336.4/Ka86
金井 典嗣 (法務), 川原 昇, 泉水 文雄	編著 ケースブック独占禁止法 第4版	弘文堂	2019.6	中央書庫/開架	335.57/Ka44
浜村 彰, 唐津 博 (法) ほか	著 ベーシック労働法 第7版 (有斐閣アルマ Basic)	有斐閣	2019.3	中央書庫/開架	366.14/H24
木立 真直 (商), 佐久間 英俊 (商)	編 現代流通変容の諸相 (研究叢書 41)	中央大学出版部	2019.9	中央書庫/開架	675.2/Ki12
小林 謙一 (文)	編 縄文時代の実年代講座	同成社	2019.5	中央書庫/開架	210.02/Ko12
小林 謙一 (文)	編 土器のはじまり (市民の考古学 16)	同成社	2019.6	開架/日本史	202.5/Ko12
小林 佐江子 (商)	訳 いやいやながらルンペンを生み出した作家：モリス・ルブラン伝	国書刊行会	2019.9	開架	950.2/L49/D63
紺野 剛 (法務)	著 企業価値創造会計の理論と実践：日本トップ500社調査	中央大学出版部	2019.10	中央書庫/理開	336.84/Ko75
酒井 克彦 (商)	編著 キャッチアップ改正相続法の税務：令和元年度税制改正対応	ぎょうせい	2019.7	中央書庫/開架	345.5/Sa29
酒井 克彦 (商)	著 公正処理基準 (プログレッシブ税務会計論 3)	中央経済社	2019.7	中央書庫/開架	336.98/Sa29
酒井 克彦 (商)	編著 キャッチアップ保険の税務：適正改正でこう変わる!!	ぎょうせい	2019.9	中央書庫/開架	336.98/Sa29
酒井 克彦 (商)	編著 税理士業務に活かす! 通達とチェックポイント：相続税裁判事例精選20	第一法規	2019.10	中央書庫	345.5/Sa29
坂田 幸繁 (経)	編著 公的統計情報-その利活用と展望 (中央大学経済研究所研究叢書 75)	中央大学出版部	2019.11	中央書庫/開架	350.1/Sa37
佐々木 信夫 (名)	著 この国のたたみ方 (新潮新書 829)	新潮社	2019	中央書庫/開架	318/Sa75
佐藤 元英 (文)	監修 明治期の米日外交史観 全5巻	クレス出版	2019	中央書庫/日本史	319.1053/Me25
実積 寿也 (総)	著 通信産業の経済学R1 第3版	九州大学出版会	2019.10	中央書庫/開架	694/J55
ニールス・ペーターゼンほか 柴田 憲司 (法), 徳本 広孝 (法), 鈴木 博人 (法)	著 公法における比例原則と家族法におけるヨーロッパ人権条約の機能：ニールス・ペーターゼン教授講演集 (日本税法研究所翻訳叢書 84)	中央大学出版部	2019.12	中央書庫/開架	322.934/P45
鈴木 俊幸 (文)	著 書籍文化史料論	勉誠出版	2019.5	中央書庫/開架	020.21/Su96
関 汎子 (文)	著 演じられる性差：日本近代文学再読	翰林書房	2019.5	中央書庫/開架	910.26/Se24
高橋 薫 (法)	著 最後の十六世紀	休寂屋	2019.3	中央書庫	235.051/Ta33
高橋 雄介 (理)	著 最先端泳法「フラットスライム」で4泳法がきれいに泳げる! 新装改訂版	東邦出版	2019.5	開架	785.2/Ta33
高橋 雄介 (理)	著 子どもの水泳に関してはこの本が最高峰	東邦出版	2019.8	開架	785.2/Ta33
加藤 康架, 滝沢 誠 (法)	著 ケース刑事訴訟法 第2版	法学書院	2019.11	中央書庫/開架	327.6/Ka86
神野 由紀, 辻 泉 (文), 飯田 豊	編著 趣味とジェンダー：「手づくり」と「自作」の近代	青弓社	2019.6	中央書庫/開架	384.8/J52
久保 亨, 土田 哲夫 (経) ほか	著 現代中国の歴史	東京大学出版会	2019	中央書庫/開架	222.07/Ku11
土橋 茂樹 (文)	著 教父と哲学：ギリシア教父哲学論集	知泉書館	2019	中央書庫/開架	132.1/Ts26
福岡 幸雄 (名)	著 消費税が国を滅ぼす (文春新書 1233)	文藝春秋	2019	中央書庫/開架	345.7/To56
小泉 英二 井手 英策, 中澤 秀雄 (法) ほか	編著 平成史 完全版	河出書房新社	2019.5	中央書庫/開架	210.76/O26
中島 康子 (法)	編著 暴力・国家・ジェンダー (中央大学社会科学研究所研究叢書 39)	中央大学出版部	2019.10	中央書庫/開架	311/N34
中條 誠一 (名)	著 ドル・人民元・リブラ：通過でわかる世界経済 (新潮新書 837)	新潮社	2019.11	中央書庫/開架	338.9/N34
中條 武志 (理)	編集委員長 ISO 9004:2018<IS Q 9004:2018>解説と活用ガイド：ISO 9001からISO 9004へ、そしてTQMへ	日本規格協会	2019.6	開架	509.66/N34
馬奈木 俊介, 中村 寛樹 (商), 松永 千晶	著 持続可能なまちづくり：データで見る豊かさ	中央経済社	2019.6	中央書庫/開架	318.2/Me43
高萩 栄一郎, 生田 目 崇 (理)	共著 ビジネス数学基礎 改訂版	ムイスリ出版	2019.11	開架	410/Ta31
縄田 雄二 (文)	編 マルセル・バイアール詩集「黒船」：抜粋と解釈	縄田雄二	2019.2	独文	941/B39/N59
服部 健治 (戦略) ほか	著 マクロ経済から見た対中投資戦略 [2010], [2011]	SMB Cコンサルティング [2010.1]-	[2010.1]-	中央書庫	338.92/H44
服部 健治 (戦略) ほか	編著 中国ビジネスに取り組み日本産業界の歩み 1-2	SMB Cコンサルティング [2012.3]-	[2012.3]-	中央書庫	338.92/H44
服部 龍二 (総)	著 大平正芳：理念と外交 増補版 (文芸春秋ライブラリー 思想 20)	文藝春秋	2019.10	中央書庫/開架	312.1/H44
オリヴァー・ブフォールマン 早坂 七緒 (名) ほか	著 ローベルト・ムーゼル：可能性感覚の軌跡	アスバラ	2019.6	中央書庫/理開	940.2/Mu85/P49 940.28/Mu85/P49
鈴木一徳, 平川 眞規子 (文) ほか	著 言語習得研究の応用可能性：理論から指導・脳科学へ (第二言語習得研究モノグラフシリーズ 3)	くろしお出版	2019.6	開架/英文	807/Sh81
平野 晋 (国経)	著 ロボット法：AIとヒトの共生に向けて 増補版	弘文堂	2019.10	中央書庫/開架	501.9/H66

* (法): 法学部、(経): 経済学部、(商): 商学部、(理): 理工学部、(文): 文学部、(総): 総合政策学部、(国経): 国際経営学部、(国経): 国際経営学部、(国経): 国際情報学部、(法務): 法務研究科、(戦略): 戦略経営研究科、(研): 研究開発機構教授、(名): 名誉教授
* スペースの都合上、配置場所は2ヶ所まで表記している。

My CUL

(マイ・クル)
中央大学図書館広報誌 No.36
(2020年11月発行)

編集発行 中央大学図書館
〒192-0393 東京都八王子市東中野 742-1
TEL.042-674-2546

URL: <https://www.chuo-u.ac.jp/library/>

